



東京局連会報

第9号

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会

令和6年
(2024年)1月



目次

東京局連近藤忠夫会長挨拶……………	2	<神奈川県>黒岩祐治県知事祝辞……………	8
東京国税局富山一成局長祝辞……………	3	神奈川県連の活動……………	9
<東京都>小池百合子都知事祝辞……………	4	<山梨県>長崎幸太郎県知事祝辞……………	10
東総連の活動……………	5	山梨県総連の活動……………	11
<千葉県>熊谷俊人県知事祝辞……………	6	東京局連の取り組み……………	12
千葉県総連の活動……………	7	東京局連副会長挨拶……………	14

会長挨拶

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 会長 ■ 近 藤 忠 夫



明けましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

振り返れば この三年間、新型コロナウイルスにより、納税貯蓄組合は、様々な行事やイベントが影響を受けました。そうした中でも、東京国税局管内納税貯蓄組合連合会では多くの支援者のご協力を頂きながら、定時総会や作文審査会などの事業を様々な工夫の下に実施してまいりました。これもひとえに、納税貯蓄組合の活動を支えて頂いております地区（署）連の役員や会員の皆様、並びに、国・都県・市区町村などの行政機関や連携する納税協力団体の皆さま方のご支援の賜物と、改めて深く感謝申し上げる次第です。

一昨年より、東京国税局や同局管内の金融機関及び業界団体などと共に開始したキャッシュレス納付の普及に向けた取組みは、昨年11月には、傘下の東京納税貯蓄組合総連合会と東京都が「キャッシュレス納付共同推進宣言」を行うなど、息の長い取組みとして継続しております。今後も、様々な機会を捉えてクレジットカードやインターネット・バンキングなど多様な手段によるキャッシュレス納付の普及・啓発に取組み、デジタル社会の実現に貢献してまいります。

また、かねて検討してきました「租税検定」制度の創設については、様々な観点から制度の実現可能性を探ってまいりましたが、最終的には、東京局連として事業化するのには困難との結論に至りました。残念ながら「租税検定」制度は、実を結ぶことは叶いませんでした。しかし、現状に留まっているだけでは時代の流れに取り残されるばかりで、前進や発展は望めません。私たちは、これからも、次の時代を見据えた新しい課題にも積極的に挑戦してまいりたいと考えております。

新型コロナについては、今年5月に、新型コロナの感染症法上の位置づけが、インフルエンザ並みの5類に変わり、4年ぶりに何の制約もない新年を迎えております。その一方で、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争など、世界情勢の先行きが依然不透明な中で、私たちは、新しい年を迎えることになりました。

今年の干支は、甲辰（かのえ・たつ）です。甲は「まっすぐに堂々とそそり立つ大木」を、辰（龍）は十二支の中では唯一架空の生き物ですが古来「龍が現れると目出度いことが起こる」と伝えられてきました。こうしたことから、甲辰は、「始まりの年であり芽吹き之年。活気に溢れ力みなぎる年」と言われているようです。いかなる時にあっても、私たちは、希望を持って新しい年に臨みたいと思います。

当会の発展と会員の皆様、当会を支えて下さる多くの皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

東京国税局長祝辞

東京国税局長 ■ 富 山 一 成



新年あけましておめでとうございます。

令和6年の年頭に当たり謹んでお祝いを申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様には、平素から税務行政に対しまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴連合会におかれましては、令和3年5月の「キャッシュレス納付共同推進宣言」を受け、各会で役員の皆様が率先して利用するなど、キャッシュレス納付の普及に向けてより一層力を入れて取り組んでいただいているところです。

また、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁との共催事業である「中学生の『税についての作文』」事業は、57回目となった昨年、東京国税局管内の中学校1,340校から11万2千編もの多数の応募がありました。これもひとえに、納税貯蓄組合の皆様方が、次代を担う中学生に向けての租税教育の重要性を認識され、地道に募集活動を継続されてきたことの成果であると考えております。これまでの皆様の御尽力に対しまして、改めまして深く感謝申し上げます。

当局といたしましても、引き続き、皆様との連携・協調を密にしていくこととしておりますので、今後とも税務行政に対しまして、より一層の御理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、私たち国税組織に課せられた使命は、国の活動を支える歳入を確保するために、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことです。これを国民の皆様からの理解と信頼の下、果たしていかなければなりません。

そのためには、納税者利便の向上に向けた様々な取組を進める一方で、消費税不正還付請求事案などをはじめとした悪質な納税者には厳正な態度で臨むということが重要であります。

次にインボイス制度についてです。

昨年10月に消費税のインボイス制度が始まりました。

今後は、登録するか否かを検討している事業者の方へ寄り添った対応を継続していくほか、制度開始を機に課税事業者となった方が適正に消費税申告を行っていただくことができるよう取り組んでいくこととしております。

まずは、制度の円滑な定着に向けて、事業者の立場に立って丁寧かつ柔軟に対応してまいります。

年も明けて、間もなく確定申告の時期を迎えますが、確定申告事務を円滑に行うことは、税務行政に対する信頼と評価を得る上で極めて重要であると考えております。

令和5年分の確定申告では、マイナポータル連携の対象がさらに拡大し、「iDeCo」、「小規模企業共済等掛金」及び「国民年金基金掛金」の控除証明書がマイナポータル連携の対象に追加されました。加えて、本年2月以降は、事業者（給与の支払者）の方が、事前に給与所得の源泉徴収票をe-Tax等でご提出していただいた場合、マイナポータル連携により給与所得の源泉徴収票の情報についても自動入力の対象となるなど、e-Taxの利便性がより一層向上していますので、是非、御自宅等からe-Taxを御利用ください。

また、納付の際は、スマホアプリ納付など、キャッシュレス納付を御利用いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、新しい年が皆様方にとってますます御多幸でありますよう心から祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

東京都知事祝辞

東京都知事 ■ 小池百合子



明けましておめでとうございます。令和6年の年頭に当たり謹んでお祝いを申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様におかれましては、近藤会長のもと、キャッシュレス納税の普及・拡大に向けたPR活動をはじめ、税の知識や納税思想の普及・啓発、「税についての作文」の募集活動を通じた租税教育の推進など、税務行政の進展に格別のご理解とご協力を賜っております。厚く御礼申し上げます。

長きにわたる新型コロナウイルス感染症との闘いは、昨年5月、新たなステージを迎えました。この間の皆様のご協力に感謝いたします。都内でも多くの外国人旅行者の姿を目にするようになるなど、社会が本格的に動き始めました。こうした明るい兆しを、力強い成長のうねりへと育てていかなければなりません。

一方で、気候危機により激甚化する自然災害や激動の国際情勢は、経済、エネルギー、食糧など様々な分野の安全保障を脅かしています。また、急速に進む少子高齢化や人口減少、日本の国際競争力の低下など、構造的な課題も顕在化してきました。今こそ、ゲームチェンジの時です。前例にとらわれることなく、知恵を出し合うことで、東京の発展につながる政策を、スピード感を持って進めていきたいと思えます。

昨年7月には、一人ひとりが輝く「未来の東京」を実現するために、2024年度の政策強化の方針を策定しました。「成長」と「成熟」が両立した持続可能な都市を創り上げるため、「『人』が輝く」、「国際競争力の強化」、「安全・安心の確保」の観点から大胆に政策を展開してまいります。

デジタルシフトを鍵とするサービス改革も進めて、QOS（クオリティ・オブ・サービス）を都民が実感できるレベルで高め、都民生活の質・QOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上につなげていきます。税務行政でも、スマートフォン決済アプリをはじめとしたキャッシュレス納税を推進しています。

多岐にわたる施策を着実に推進するには、強靱な財政基盤が不可欠です。その根幹をなすのは、納税者の皆様からの都税収入でございます。東京都は、適正かつ公平な税務行政の実現に不断に取り組み、納税者の皆様のさらなる信頼と協力が得られるよう努めてまいります。貴連合会並びに会員の皆様の一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と、組合員の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念し、この一年が皆様にとって輝かしいものとなることを願って、新年のご挨拶といたします。

東京納税貯蓄組合総連合会の活動

第67回東総連定期総会（6月19日(月)：上野精養軒）



総会の様子

本年度の東総連定期総会は、コロナ感染が完全に収束していないものの感染症法上の位置付けが、2類相当感染症から5類感染症に分類され、行動基準が大幅に緩和されたことでより多くのご来賓に参加いただくことができ盛大に会を催す事が出来ました。

東総連青年部・女性部合同研修会（7月11日(火)：上野精養軒）

東総連青年部・女性部主催による研修会が開催されました。講師には東京都主税局徴収部滞納整理対策担当課長、渡部賢一様をお迎えし、「東京都におけるキャッシュレス納税の取組について」と題した講演を行っていただきました。

今年度は、東総連の一大イベントとして「東総連と東京都によるキャッシュレス納付共同推進宣言式」の開催が予定されており「キャッシュレス納付」の話を知り、理解が深まり、大変有意義な研修会となりました。



研修会の様子

東総連作文審査会（10月3日(火)：上野精養軒）



審査会風景

東総連の作文審査会が行われました。79名の審査委員に集ってもらい、各地区連合会への応募作品の中から選ばれた188編の審査対象に、皆様熱心に審査に取り組んでいただきました。地区連合会及び関係者の皆様方のこれまでの献身的な取り組みに、心から感謝申し上げます。

千葉県知事祝辞

千葉県知事 ■ 熊谷俊人



令和6年の年頭に当たり、謹んでお祝いを申し上げます。東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様におかれましては、平素から税務行政に対して、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴連合会におかれましては、納期内納付と振替納税の推進等による自主納付体制の確立、税の知識や納税思想の普及・啓発、中学生の「税についての作文」の募集事業などを通じ、納税意識の高揚のために多大なる御協力をいただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。

昨年9月の台風第13号で被害に遭われた県民や事業者の皆様、心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧に向けて全庁を挙げて取り組むとともに、災害に強い千葉県づくりを着実に進めます。

県内経済の回復を確かなものとし、賃上げと消費拡大、企業の成長などの好循環を実現するため、中小企業のDX等による生産性向上や、リスクリング等による人材の確保・育成を支援します。また、海外からの観光客も回復する中、誘客促進とともに、ワーケーションなど新たな旅のスタイルの促進などにも取り組みます。

農林水産業については、生産性向上や、さつまいも・梨など本県の顔となる品目の重点的なプロモーションなどにより、更なる発展に努めます。昨年11月には就任後初めての海外出張として台湾を訪問し、本県の魅力をアピールしました。今後も様々な取組を進めます。

成田空港は、第3滑走路新設など「第2の開港」ともいえる機能強化を予定しています。昨年は空港周辺での土地利用規制の弾力化を実現したところです。県として物流をはじめ国際的な産業拠点の形成を図るなど地域づくりを推進します。

本県活性化の基盤となる道路ネットワーク整備にも、引き続き積極的に取り組みます。

子どもたちが自ら考え、行動し、成長しようとする力を育むため、自然環境保育に取り組む幼稚園や保育所等を認証し支援していきます。昨年創設した児童養護施設等退所者等への奨学金制度には、多くの方々から御協力をいただきました。深く感謝申し上げるとともに、引き続き支援を呼びかけてまいります。小学校の授業にベテラン教員や塾講師の指導を取り入れるとともに、不登校の児童生徒への教育機会の確保に向けた施策も着実に進めます。

全ての人々が互いに認め合い、連携・協力することが、相互作用と相乗効果を生み、社会の活力と創造性の向上につながります。多様性尊重の意義を広く共有し、多様性が尊重され、誰もが社会に参加し、その人らしく活躍できる社会の実現に取り組みます。

千葉の多様な魅力を発信するため、本県の三方を囲む海をテーマに豊かな食文化や伝統文化などをアピールしていきます。本年11月には、「ちばアクアラインマラソン2024」を開催しますので、ぜひ、海の上を走る爽快感を体感してください。

現在、県誕生150周年を機に、昨年各地で多彩な記念事業を展開しています。改めて県が市町村や企業等とともに地域づくりに取り組んでいく節目としたいと考えています。

このような各種施策を着実に進めていくためには、自主財源の確保が必要不可欠であり、今後とも、納税者の皆様の信頼と協力が得られるよう、常に適正かつ公平な税務行政を推進してまいりますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も、貴連合会、傘下納税貯蓄組合のますますの御発展と組合員の皆様の御健勝の年となりますよう心からお祈り申し上げまして、年頭のあいさつといたします。

千葉県納税貯蓄組合総連合会の活動

千葉県納税貯蓄組合総連合会の各署連では、新型コロナの5類移行に伴い、令和5年度は、街頭キャンペーンや一日税務署長、中学生の税についての作文表彰式などの事業を行いました。ここでは、いくつかを紹介します。

1. 千葉東税務署管内納連の活動

令和5年11月10日(金)JR千葉駅前で行われた「税を考える週間 駅前街頭広報活動」に参加しました。千葉東税務署の団体長会が主催する街頭キャンペーンでは、各団体が思いを込めたキャンペーングッズを用意、行き交う市民に税の大切さやキャッシュレス納付をPRしました。



2. 市川税務署管内納連の活動



令和5年12月14日(木)中学生の「税についての作文」募集事業に優秀作品を寄せられた3名の生徒さんを市川税務署にお招きして「一日税務署長」を実施しました。委嘱状交付の後、名刺交換、模擬決裁、署内見学、署長訓示(作文朗読)、写真撮影と充実した時間を過ごしました。

3. 柏税務署管内納連の活動

令和5年11月9日(木)、ザ・クレストホテル柏において、令和5年度中学生の「税についての作文」表彰式を行いました。本年度は、35校より3,531編もの応募がありました。入選者については、来賓・保護者が見守る中、賞状の贈呈を行いました。



神奈川県知事祝辞

神奈川県知事 ■ 黒岩 祐治



あけましておめでとうございます。令和6年の年頭に当たりまして謹んでお祝いを申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆さまにおかれましては、日ごろから、キャッシュレス納付の普及促進に向けた活動をはじめ、本県の税務行政の推進に格別なご理解とご協力を賜り、深く感謝いたします。また、中学生の「税についての作文」の募集事業などを通じて、納税意識の向上のために多大なるご尽力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

コロナ禍の影響を脱した今、私たちの日常生活や社会経済活動は以前の活気をほぼ取り戻しました。県内の観光地にも大勢の観光客が訪れ、賑わいを見せています。

新型コロナとの闘いは本当に長く辛い日々でしたが、この危機を乗り越えることができたのは、県民、事業者の皆様のご理解とご協力があり、そして、医療関係者の皆様の献身的なご尽力があったのでした。改めて感謝を申し上げます。

コロナ禍は私たちの生活に様々な変化をもたらしました。デジタル化の浸透もその一つではないでしょうか。コロナ禍では、多くの皆さんが先の見えない不安を抱えていたと思いますが、県では、こうした不安を少しでも解消できるよう、デジタルの力を活用し一人ひとりに寄り添った対応を行ってきました。「新型コロナ対策パーソナルサポート」で、感染症の最新情報や感染の拡大状況など県民の皆様が知りたい情報をきめ細かく発信したほか、自動音声で健康観察を行うAIコールを導入し、自宅で療養している方々のフォローアップをすることもできました。

そして今、世界はまさにデジタル革命の真っ只中にあります。生成AIに代表されるように人工知能の進化は目覚ましく、人間の頭脳を超える日も遠くないと言う識者もいます。また、その活用には様々なリスクも指摘されていますが、私たちが目指しているのは、県民の皆様が目線に立ち、一人ひとりの不安に寄り添い、安心して暮らせる社会を作り上げていくことです。

コロナ禍で培った経験を活かしながら、医療や福祉、防災、地域交通など様々な分野でデジタルの活用を進め、「県民目線のデジタル行政でやさしい社会」の実現を目指してまいります。

そのために取り組む各種施策には、県民の皆様からお預かりした貴重な県税が財源となります。

今後とも、電子申告やキャッシュレス納付の拡大により、納税者の利便性向上を図るとともに、納税者の信頼と協力が得られるよう、適正かつ公平な税務行政を推進してまいりますので、納税貯蓄組合の皆様におかれましても、本県の取組にご理解をいただき、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会、傘下納税貯蓄組合のますますのご発展を心より祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

神奈川県納税貯蓄組合連合会の活動

令和5年度はコロナの5類移行もあり、神奈川県納税貯蓄組合連合会各署連の事業も復活してまいりました。令和5年5月23日に第64次定時総会を開催し、今年度の事業方針を確定しました。各署連に納税意識の高揚の為の中学生の「税についての作文」を始めとする事業推進をお願いしました。結果として神納連としての作文応募が前年に比して微増ではありましたが、教育現場に於ける夏休みの作文としての取り扱いを考える必要があると認識した次第です。

納税貯蓄組合のあり方を含め、基本に立ち帰り、引き続き納税意識の高揚に取り組んでいく所存です。



中学生の「税についての作文」表彰式 (11月22日(水): 神奈川県庁)



国税庁長官表彰を含む、中学生の「税についての作文」表彰式 (11月29日(水): 相模原納税貯蓄組合連合会)

山梨県知事祝辞

山梨県知事 ■ 長崎 幸太郎



新年明けましておめでとうございます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様におかれましては、益々ご清栄のうちに令和6年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から近藤会長はじめ会員の皆様におかれましては、納期内納税の推進にご協力を賜りますとともに、租税教育の推進にも多大なご貢献をいただき、心から感謝申し上げます。

本県では、現在、生活や社会基盤を将来にわたって持続あるものとする「ふるさと強靱化」を土台として、山梨県内外に向けて豊かさへの扉が開かれ、豊かさと呼び込む「開の国」という二層一体の上にある「豊かさ共創社会」の実現に向けて取り組みを進めているところです。

こうした取り組みを着実に進める上で、財源となる税収の確保は不可欠であり、そのためには、県民の皆様の税に対する理解を深めるとともに、納税しやすい環境を整備することが必要であります。

このため本県では、県税の分野においてもDXを強力に推進していくこととし、納税者の利便性の向上並びに金融機関における事務負担の軽減など、社会全体のコスト縮減につながるeLTAXの積極的な利用を呼び掛けているところです。

しかしながら、eLTAXを利用することで複数の自治体へ一括して納税ができるという利点がある個人住民税の特別徴収においては、未だ電子納税の利用率が低迷している状況にあります。

そこで本県では、県内金融機関・税務署・市町村等との連携による「納付書レス・キャッシュレス納付推進プロジェクト」の一環として、税務署・県・市町村の職員が直接事業所を訪問し、e-Tax並びにeLTAXの利用開始手続を支援するなど、所得税の源泉徴収や個人住民税の特別徴収における電子納税の推進に向けて、きめ細かな支援にも取り組んでいるところです。

今後も、納税者の皆様の信頼と期待に応えられるよう、引き続き、公平・公正な税制運営に努めて参りますので、会員の皆様におかれましては、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の益々のご発展と、会員の皆様のこの1年のご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

山梨県納税貯蓄組合総連合会の活動

山梨県納税貯蓄組合総連合会は、甲府、山梨、大月、鵜沢の4署（地区）連で構成されており、県下一斉の自動車税納期内納税啓発事業や事業所巡回啓発事業を実施するとともに、署（地区）連毎に特色ある会報を発行するなど、様々な活動を行っています。今回は鵜沢税務署管内納税貯蓄組合連合会（遠藤公夫会長）の活動を紹介します。

「中学生の税についての作文」作品審査会（9月26日(火)：鵜沢税務署）

租税教育の一環として地区内の全中学校より提出された、「中学生の税についての作文」（地区内201編）について、入選作品の審査会を鵜沢税務署との共催により行いました。



「中学生の税についての作文」作品披露（11月16日(木)：下部ホテル）

コロナ禍を除き、毎年、納税表彰式において、受賞者の表彰式並びに優秀作品の披露を行っています。今回は、東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞された生徒さんが作品を発表してくれました。



東京国税局管内納連の取り組み

1.中学生の税についての作文

納税貯蓄組合連合会では、国税局との共催による中学生の「税についての作文」を毎年度の中心的な事業として取り組んでいます。この事業は、昭和42年に始めて以来、令和5年度で57回目を数えます。

令和5年5月の新型コロナの5類移行に伴い日常生活が戻る中、作文の応募状況もコロナ禍前の水準まで戻りつつあります。しかし、コロナ禍前の令和1年と比べると、応募校数は90%程度、応募編数では81%程度の回復に留まっており、都県により回復の度合いは異なっています。詳しい内訳は、下表のとおりです。

令和5年10月、東京局連において作文の審査を行った結果、東京国税局長賞19編、東京局連会長賞36編、東京局連優秀賞100編、全納連上申作品32編を選出しました。

	年度	東京都	神奈川県	千葉県	山梨県	合計
応募数 (編)	令和1年度	73,809	28,588	32,563	4,187	139,147
	令和2年度	53,864	12,073	17,481	2,658	86,076
	令和3年度	67,135	18,151	24,653	3,215	113,154
	令和4年度	68,042	18,241	26,083	3,594	115,960
	令和5年度	66,288	18,820	24,274	3,402	112,784
	前年度増減数	-1,754	579	-1,809	-192	-3,176
	前年度比	0.97	1.03	0.93	0.95	0.97
	令和1年度比	0.90	0.66	0.75	0.81	0.81
参加校数 (校)	令和1年度	695	352	360	84	1,491
	令和2年度	605	181	259	67	1,112
	令和3年度	673	271	307	83	1,334
	令和4年度	677	274	307	81	1,339
	令和5年度	685	281	296	78	1,340
	前年度増減数	8	7	-11	-3	1
	前年度比	1.01	1.03	0.96	0.96	1.00
	令和1年度比	0.99	0.80	0.82	0.93	0.90

2. 一日税務署長を74署で実施

税についての作文で優秀な賞を受賞した中学生が東京国税局管内の税務署で「一日税務署長」を勤めました。この事業は、東京国税局管内納税貯蓄組合が平成28年度から東京国税局長のご賛同を得て始めたもので、令和5年度で8年目となります。

令和5年度の一日税務署長は、東京国税局管内の全84税務署中74署で実施されました。実施率は88%でした。昨年度に比べて15ポイントアップしています。この成果をあげられましたのも、各税務署の皆様の大きなご協力によるものです。

都県別の実施率は、東京都が48署中46署で96%（昨年77%）、神奈川県が18署中12署で67%（昨年50%）、千葉県が14署中13署で93%（昨年79%）、山梨県が4署中3署で75%（昨年100%）となっています。多くの都県で実施率が向上しています。（いずれの数字も今年度中の実施予定数を含む）

東京都大田区にある雪谷税務署では、浅岡優花さん（大田区立東調布中学校3年・東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞）と田中然さん（大田区立大森第十中学校3年・東京納税貯蓄組合総連合会会長賞を受賞）のお二人が一日税務署長を勤められました。



決裁をする浅岡優花さん



挨拶をする田中然さん

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 副会長 (神奈川県連 会長) ■ 浦 上 裕 史



令和5年10月1日よりインボイス制度が始まり、申告システムの新たなステージが開かれました。私達は昨年来キャッシュレス納付宣言をして、大いにPRをしてまいりました。今、スマートフォン・パソコンを使いこなす人達がどれくらいおられるのでしょうか？多くは若い人たちと思われます。教育の場で子供達はタブレット端末を使いこなしています。AIの進歩、チャットGPT等の新たな情報があふれる時代の中ですが、人間が文章を考える「作文」の意義は十分にあると思います。

令和5年度の中学生の「税についての作文」も神奈川県内281校から18,820編の作品の応募をいただきました。その中でも国税庁長官表彰となりました、神奈川県立相模原中等教育学校2年の青木祐弥さんの「効果的な税金」という考え方の作文は、新たな視点から仮想通貨を題材とした、正しい税のあり方を提案するすばらしい作品でした。この情報のあふれる時代の中で、私達の納貯活動を若い人達に関心を持ってもらえる運動にしなければなりません。その意味からも私達の納める「税金」がどう使われるのかを考え、提案していただける中学生の増えることを期待しております。

県内18署連の多くの役員の高齢化も進んでおります。私達も自らもスマートフォンを使い、デジタル化の波を乗り切っていく所存です。

今後の納貯活動の推進にご支援をお願い申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 副会長 (千葉県総連 会長) ■ 高 橋 功



明けましておめでとうございます。

令和6年 輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様、東京国税局をはじめとする各税務行政機関の皆様には平素よりご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

千葉県納税貯蓄組合総連合会は昭和38年2月に結成設立、以来60年を超える活動を続けております。設立趣意書によれば、「(前略) 誠実な申告と期限内完納こそ、われわれ納税者が直ちに果たさなければならない義務であります。(中略) このときにあたり千葉県に包含される全納税貯蓄組合ならびに地区連合会は納税に関する諸制度の円滑なる運営と、地区連合会の緊密なる連携を図るためその協議機関として県内地区連合会を母体とする総連合会を結成して、この機関を通じて納税貯蓄組合の運営について十分の工夫をこらして納税団体としての所期の目的を果たすことは勿論、組合相互はもとより金融機関とも密接な連絡をはかり、各税務官公庁当局の理解と協力のもとに納税貯蓄組合の適切な運営を図りつつ、国税、地方税における現行租税制度等を研さんし明るい税務行政の推進のため大いに貢献しようとするものであります。」との宣言により結成されました。

近年、社会情勢の変化に伴い納税方法の多様化、個人情報保護などの観点から旧来の期限内納付の手法を中心とした納税貯蓄組合活動は困難となり、担い手不足と相まって解散する組合も少なくはありません。しかし、結成趣意書にある『誠実な申告』を行うためには、税に対する正しい理解が不可欠であり、『期限内完納』を確かなものにするためには納税資金の事前準備が必要です。現在私たちが主に行っている中学生の「税についての作文」募集事業やデジタル化社会に即応するキャッシュレス納付の利用促進などの活動はこれらに資するものであり、かつて諸先輩方が描いた納税貯蓄組合活動の原点にも繋がっておりその理念は不変です。今後も原点を見失わずに活動を続け、納税貯蓄組合を将来に引き継いでいきたいと思っております。皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 副会長 (山梨県総連 名誉会長) ■ 新 津 尚



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、コロナにより3年間中止となっていました「信玄公祭り」が節目の50回開催となり、一番の目玉となる「甲州軍団出陣」が10月に行われました。信玄公役にはモデル・俳優の富永愛さんが女性として初めて起用され、期間中の来客が初の20万人超えとなる記録的な賑わいでした。

さて、山梨県下の各署納連においては消費税の完納キャンペーン等も行っていましたが、県納連では県当局とともに、春に自動車税の納期内納付の広報、秋に「県税のしおり」を配布するなど、県税の納付推進活動にも力を入れています。

また、昨年10月にはインボイスの制度が開始され、従来は免税であった小規模事業者が新たに納税者となることもあり、軽減措置があるとはいえ、これまで以上に消費税の完納及びその促進活動は重要になってきています。

新年にあたり、納税貯蓄組合連合会でも重点的に取り組んでいる振替納税制度の利用拡大と併せて電子申告・電子納税（キャッシュレス納付）についても、国税、地方税当局と連携し、普及拡大に引き続き取り組んでいくことが重要なことだと改めて思ったところであります。

結びに、本年も税務当局や関係団体の皆様のご協力を頂きながら、活動を推進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 相談役 (東総連 常任相談役) ■ 原 まり子



皆様には、お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

令和5年度も東京局連では様々な活動をしてまいりましたが、そのうち、「租税検定制度」について、検討メンバーの一員としての立場からご報告いたします。

この制度は、租税に関する知識を小中学、高校・大学と教育課程の各段階に応じて学ぶ新たな仕組みを創ろうというものです。実現すれば、現在、納連が行っている「中学生の税についての作文」を、更に発展させられる可能性もあります。

新しい制度を創るに際しては、運営主体である「ヒト」、問題作成や制度設計に関わる「モノ」に加え、活動資金としての「カネ」の3点からの検討が必要です。東京局連では、令和3年度から、これらの観点から制度の実現可能性について検討してまいりました。

その結果、「租税検定」制度の発想自体は良き納税者を育てる上で優れた面がある一方で、運営組織の問題や活動資金の問題など解決すべき課題も数多く残されていることも確認出来、このため、令和4年度末、東京局連として事業化するのには困難との結論に至りました。

新しい年を迎え、納連の主要事業でもあり、国税庁との共催事業である作文では、年々複雑化する税知識の普及や増税に対する理解、そして税の重要性、ふる里納税についての鋭い意見や疑問など、次世代を担う中学生に対する租税教育の大切さ、また、AIなどの普及に伴う作文の見分け方等、山積する課題に今後どう対応していくべきか検討中です。

令和6年度 東京局連 主要事業日程（予定）

令和6年	4月	会計監査
	6月10日（月）	定期総会
	8月	東京国税局長挨拶
	10月	東京国税局連絡協議会
	10月	中学生の税の作文審査
	11月	東京国税局長表彰式
令和7年	1月	東京局連会報第10号発行
	1月	東京国税局長新春の挨拶

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の運営委員

会長	近藤 忠夫（東総連会長）	副会長	浦上 裕史（神奈川県連会長）
副会長	高橋 功（千葉県総連会長）	副会長	新津 尚（山梨県総連名誉会長）
相談役	原 まり子	会計	伊藤 隆正
監事	間下 成敏	監事	小貫 訓
監事	遠藤 敏雄		

東京局連会報（第9号）

発行日	令和6年1月1日
発行者	東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 会長 近藤忠夫
本部	〒101-0054 千代田区神田錦町1-12-1 アーク錦町ビルⅡ
印刷	(株)プリントン・コミュニケーションズ 〒135-0016 江東区東陽5-29-15 ☎03-3615-1210
表紙絵	「平和への祈り」辻 桃子（俳人・俳句結社「童子」主宰）

※ 本号は昨年末に頂きました原稿により発行しました。